

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**446** 観光支援事業（市民グループや観光関連団体が実施するイベント等への助成）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業種別	継続		
事業期間	H20 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	観光課	澤本 博行	435-1234
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業 中事業		観光振興事業 観光支援事業	

## 1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か 観光振興に寄与する団体に支援をおこない、市外（県外）からの観光客誘客の増加を図る。		全体事業概要 ・さくら祭りの実施に補助 ・加太観光協会が実施する観光地保全管理事業に対して補助 ・磯の浦観光協会が実施する観光地保全管理事業に対して補助 ・片男波海水浴場を管理運営する事業に対して補助 ・和歌山市加太地域への観光振興に寄与する事業に対して補助			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
○各種観光イベント等の補助 ○観光協会への運営交付金等の支出 ○海水浴場の管理運営に必要な大規模修繕等への補助		○各種観光イベント等の補助 ○観光協会への運営交付金等の支出	○各種観光イベント等の補助 （観光協会への運営交付金等の支出は観光誘客対策事業へ）	○各種観光イベント等の補助	○各種観光イベント等の補助	

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	46,650	45,327	33,182	34,764	17,595	17,595	16,621	16,621	16,621	
伸び率（%）	-	-	▲28.9%	▲23.3%	▲47.0%	▲49.4%	▲5.5%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	6,483	10,464	6,483	7,677	6,532	2,566	2,566	2,566	2,566
	正規職員以外									
小計	6,483	10,464	6,483	7,677	6,532	2,566	2,566	2,566	2,566	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	8,562	6,784	8,562	8,871	9,062	8,743	8,645	8,645	8,645	
一般財源（税等）	38,088	38,543	24,620	25,893	8,533	8,852	7,976	7,976	7,976	
所要人数（人）	正規職員	0.87	1.38	0.87	0.97	0.82	0.32	0.32	0.32	0.32
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
主な予算内訳	片男波海水浴場管理運営交付事業11,400千円、観光地保全管理事業補助金2,888千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	交付件数	件	目標値	10	10	10	10	7
			実績値	9	8	7		
			達成度(%)					
成果指標	観客動員数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値	2,400	2,250	4,550		
			達成度(%)	60.0%	56.2%	113.8%		
成果指標	市営片男波海水浴場利用者数	人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	189,217	201,058	200,351		
			達成度(%)	75.7%	80.4%	80.1%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民グループや観光関連団体等との協働により、市民が主体となったイベントの定着を目指すとともに、引き続き観光誘客の増加を図る。
見直し・改善内容	各団体における支援のあり方について今後検討していく。 地方創生交付金事業の認定を目指す。